

## お取扱いの手引き・組立施工マニュアル

新日軽伸縮門扉《ニューエクスプレジール》をお買上げいただきありがとうございました。

- お客様へ 未永くご使用いただくため、2ページの「お取り扱いの手引き」をよく読んでいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。
- 施工店様へ 未永くご使用いただくため、組立施工マニュアルをよく読んでいただき正しい施工を、お願いいたします。

### ■ 注意事項(施工店様へ)

新日軽のアルミ製品は JIS の表面処理規定を十分クリアーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。

- ①モルタル用に**海砂**を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- ②モルタルやコンクリートの**抽出液**が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。  
抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
- ③モルタルやコンクリートの**急結剤**は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- ④施工時にアルミ製品の表面に**付着**したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- ⑤アルミ製品と**銅板やラス**等の異種金属が接触しないようにしてください。  
接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- ⑥腐食の恐れのある**接着剤や化学薬品**を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- ⑦みだりに改造・変更は避けてください。

※この組立施工マニュアルは、工事完了後お客様にお渡しください。



## 新日軽株式会社

- 末永くご使用いただくため、下記の事項にご留意くださいますようお願いいたします。  
（このマニュアルは、大切に保管してください。）

## 日常のお手入れについて

- ① この《**リネージュール**》はアルミ製ですが、いつまでもきれいに気持ちよくご使用いただくため時々、布で表面の汚れを拭き取ってください。
- ② 永い間使用しますと、施錠部や車輪部が緩んだりする場合があります。  
組立施工マニュアルを見て調整してください。（プラスドライバー・スパナでできます。）
- ③ 扉の開閉をよりスムーズにするため回転部の車軸部に適時、注油してください。
- ④ **お願い** レール部にゴミ、土、砂、雨水が溜まらないようこまめに掃除をしてください。

## アルミ製品のお手入れのお願い

- ① アルミのサビの原因は……

大気中の汚れが最大の原因です。ほこり、ばい煙（すす）、鉄粉などの金属粉、亜硫酸ガスなどの排気ガス、および海塩などです。これらがアルミの表面に付着したまま長く放置されると、湿気や雨水によって影響を受け、腐食させてしまう場合があります。

- ② お手入れはカンタン

年に数回の水洗いと空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。汚れが軽い場合は、やわらかい布かスポンジで水ぶきした後に空ぶきしてください。

### ■ 地域別お手入れ回数

地 域	回 数
臨海工業地帯	年に2～3回
工業・商業・温泉地帯	年に2回
海岸・街道地帯	年に1回～2回
田園・山間地帯	年に1回

- ③ 汚れが目立つ場合

中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いしてから空ぶきしてください。

- ④ お手入れの際の注意

- お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。  
金属ブラシ、金ペラ、スチールウール、目の荒い紙ヤスリ等はさけてください。
- 小石、砂などが付着したまま表面をこするとキズが付きます。あらかじめ取り除いてください。
- 洗剤は中性洗剤を薄めてご使用ください。酸性洗剤やアルカリ性洗剤はアルミの表面を侵します。
- 角や隅に洗剤が残らないようにしてください。放置しますと腐食の原因になります。

# 安全にお使いいただくために必ずお守りください。

この手引き書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを示しています。
	「必ず守っていただくこと」を示しています。

## ご使用上の注意とお願い

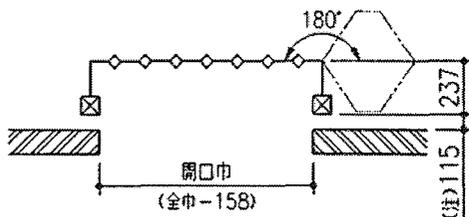
- 注意 通常使用されない場合は必ず施錠して下さい。また落とし棒も同時に下ろして下さい。
- 注意 開閉の時は必ず落とし棒を上げてから操作して下さい。
- 注意 開閉時には手足・衣服などを挟まないように、注意して下さい。また、人・物等の障害物が無い事を確認して下さい。
- 注意 扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- 注意 開閉は必ず引手を持って行ってください。
- 注意 扉をたたんだ時自走しない様、落とし錠を下ろして下さい。
- 開閉操作はゆっくり行ってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。
- 年に一回、ネジやボルトのゆるみがないか確認して下さい。

## 《ニューエクジス・プレジール》キャスター式施工納まり図

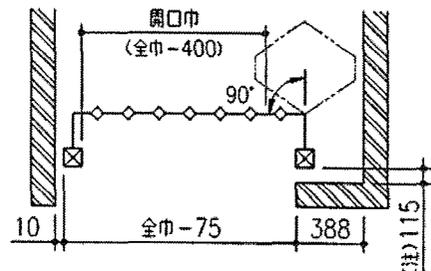
■ 下図に示した以外の納まりの場合などは下図の納まりの組合わせによって施工してください。

### ■ 片開き納まり

塀と平行になる場合

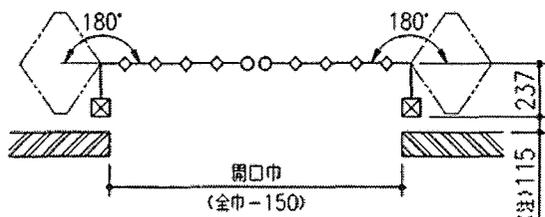


塀と垂直になる場合

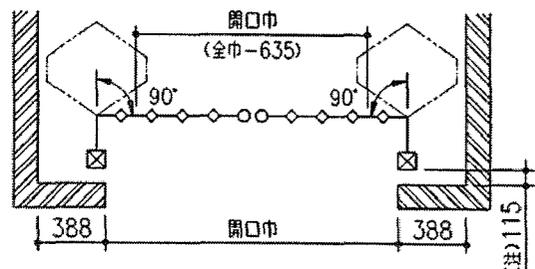


### ■ 両開き納まり

塀と平行になる場合



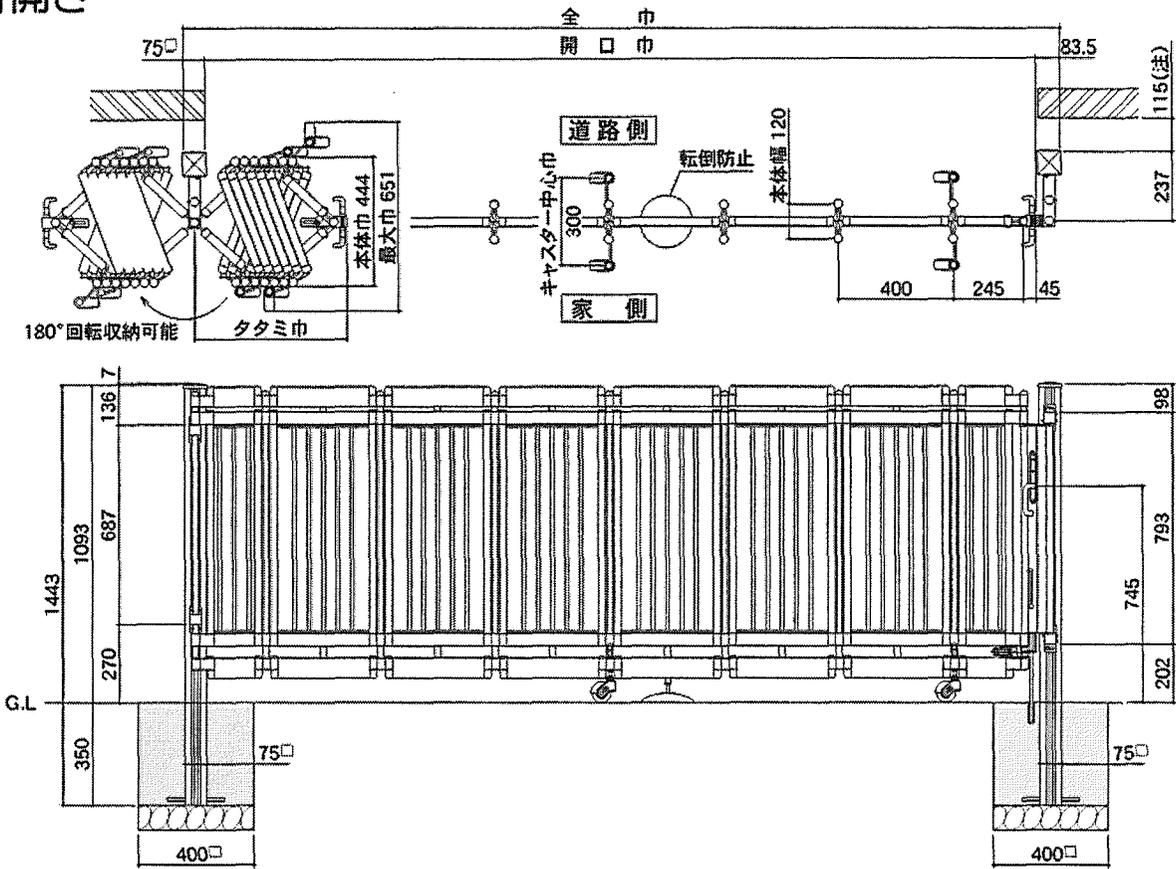
塀と垂直になる場合



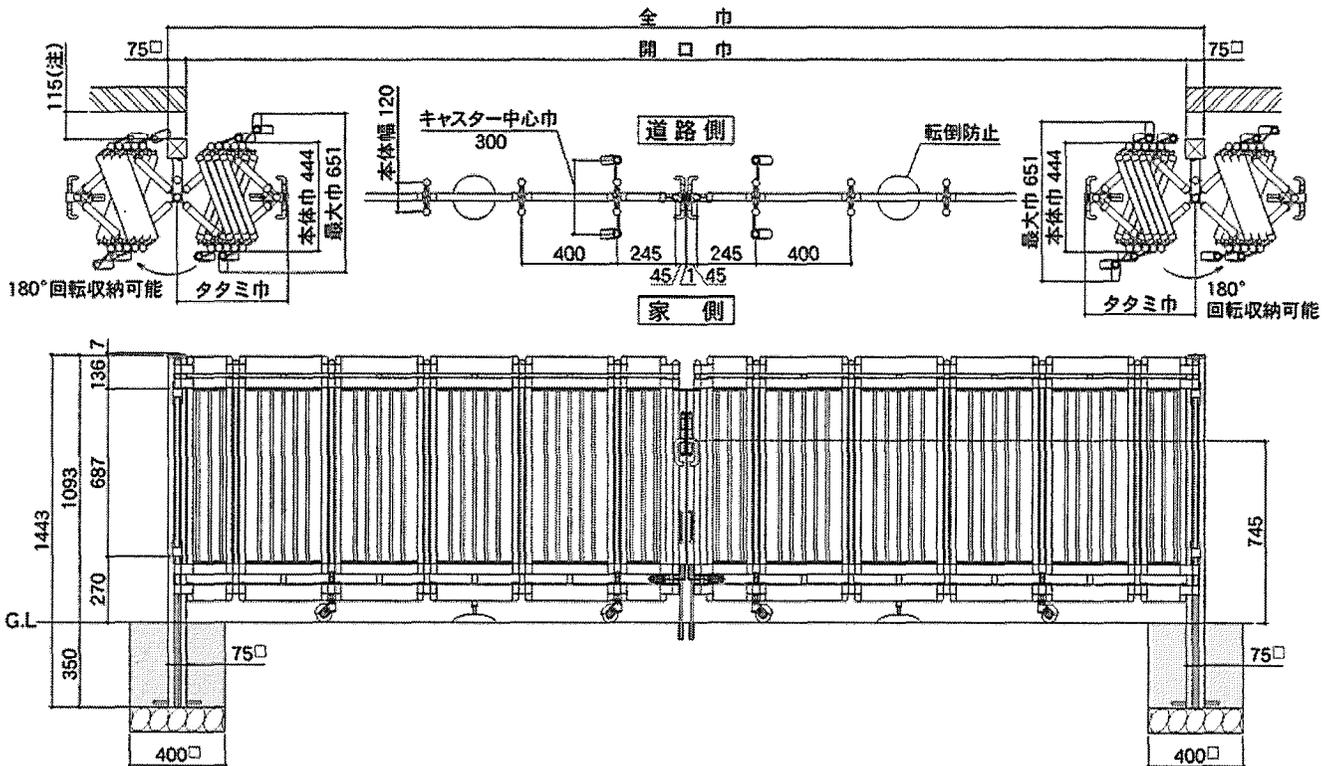
(注) 壁面よりの基準寸法です。基礎及び埋設物等を考慮して施工してください。

# ■ 本体図《ニューエクス・プレジール》キャスター式

## ■ 片開き

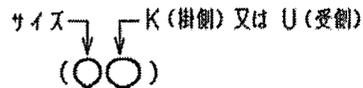


## ■ 両開き



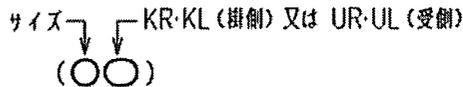
(注) 壁面よりの基準寸法です。基礎及び埋設物等を考慮して施工してください。  
上記のパネルデザインはDA型です。

# ■《ニューエクジスDA・DH・DP・DG型・プレジール》仕様



	セット呼称	本 体		門柱セット		細包数 合計	全 幅 m/m	開口幅 m/m	タタミ幅 m/m
		掛側本体	受側本体						
片開き	180S	18K		片開き柱セット		2	1,856	1,698	449
	220S	22K				2	2,256	2,098	489
	260S	26K				2	2,656	2,498	529
	300S	30K				2	3,056	2,898	569
	340S	34K				2	3,456	3,298	609
	380S	38K				2	3,856	3,698	649
	420S	42K				2	4,256	4,098	689
	460S	46K			↓	2	4,656	4,498	729
両開き	350W	18K	18U		両開き柱セット	3	3,546	3,396	449×2
	430W	22K	22U			3	4,346	4,196	489×2
	510W	26K	26U			3	5,146	4,996	529×2
	590W	30K	30U			3	5,946	5,796	569×2
	670W	34K	34U		↓	3	6,746	6,596	609×2

# ■《ニューエクジスDD型》仕様



	セット呼称	本 体		門柱セット		細包数 合計	全 幅 m/m	開口幅 m/m	タタミ幅 m/m
		掛側本体	受側本体						
片開き	180S	18KR (L)		片開き柱セット		2	1,856	1,698	449
	220S	22KR (L)				2	2,256	2,098	489
	260S	26KR (L)				2	2,656	2,498	529
	300S	30KR (L)				2	3,056	2,898	569
	340S	34KR (L)				2	3,456	3,298	609
	380S	38KR (L)				2	3,856	3,698	649
	420S	42KR (L)				2	4,256	4,098	689
	460S	46KR (L)			↓	2	4,656	4,498	729
両開き	350W	18KR (L)	18UL (R)		両開き柱セット	3	3,546	3,396	449×2
	430W	22KR (L)	22UL (R)			3	4,346	4,196	489×2
	510W	26KR (L)	26UL (R)			3	5,146	4,996	529×2
	590W	30KR (L)	30UL (R)			3	5,946	5,796	569×2
	670W	34KR (L)	34UL (R)		↓	3	6,746	6,596	609×2

## ■ 本体部品明細

\*ニュー・エクス・プレジール共通部品

名称	略図	樹倒本体								受倒本体				
		18K	22K	26K	30K	34K	38K	42K	46K	18U	22U	26U	30U	34U
落シ錠受け		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
錠		1	1	1	1	1	1	1	1	/	/	/	/	/
アソカープラグ 十字穴付ナベ小ネジ		/	各2	/	各2	各2	各2	各2						
転防受金具		/	1	1	1	1	1	1	1	/	1	1	1	1

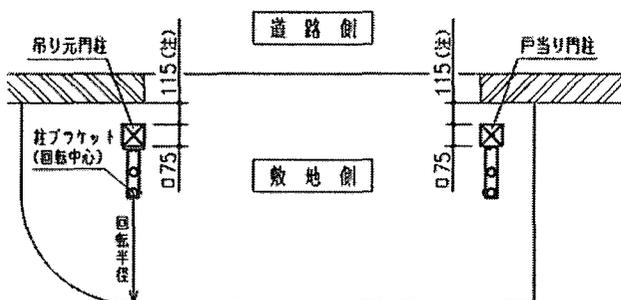
## ■ 門柱セット梱包明細

名称	片開き門柱セット		両開き門柱セット	
吊元・戸当柱 (門柱キャップ・取付ビス)		2		2
片開き用施錠受けセット (補強板2・取付ビス4)		1		—
アソカー棒 (φ9×200L)		2		2
取扱説明書		1		1

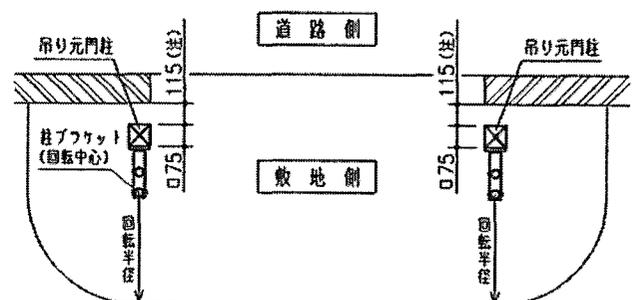
## 1 はじめに

■ 床面の仕上げは、本体走行上キャスターの走行巾分はフラットに仕上げてください。開けた時本体を回転させる場合は回転半径(本体タタミ巾)も考慮に入れて仕上げてください。

### ■ 片開き



### ■ 両開き



(注) 壁面よりの基準寸法です。基礎及び埋設物等を考慮して施工してください。

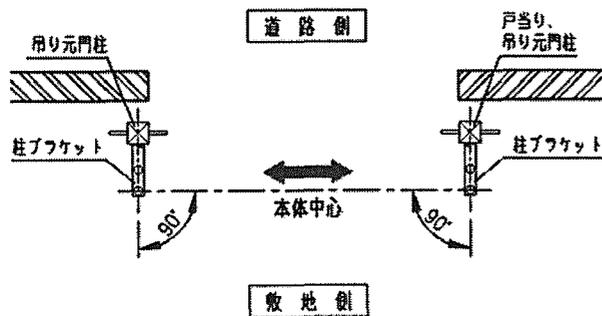
## 2 門柱の取付方法

- 門柱埋込位置は施工納まり図を参考に、門柱は垂直に埋込んでください。

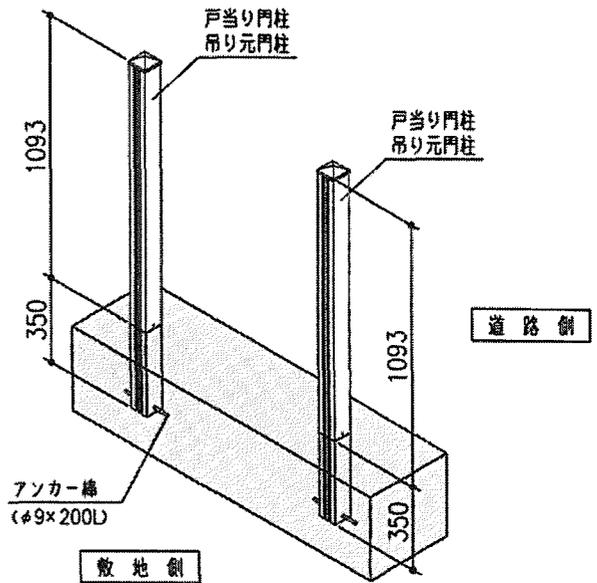
〔注意事項〕

左右の門柱埋込間隔は本体図を参照し、仕様書の全巾寸法を正確に守って埋込んでください。

〔全巾寸法が正確でない場合には、錠が掛からない事があります。〕

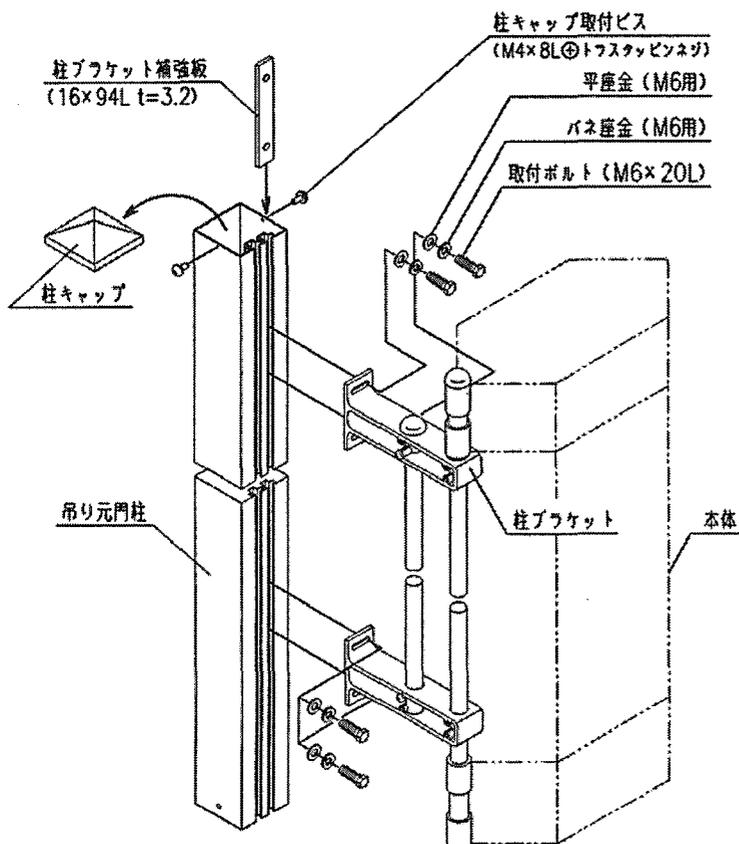


- 片・両開き

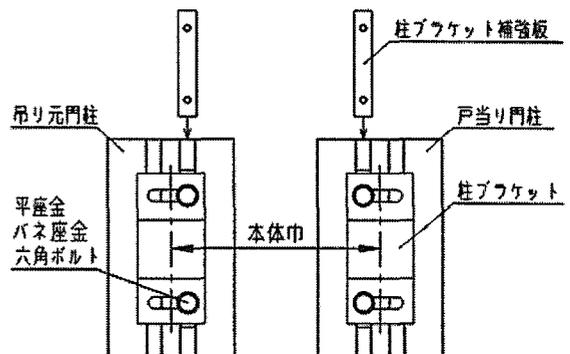


## 3 本体の取付方法

- 本体の取付けは、まず柱キャップを外してから下図のように柱ブラケット補強板と柱ブラケットを取付ボルトで取付けてください。本体が水平になるように柱の溝で上下の高さを調整し固定してください。調整が終われば柱キャップを取付ビスで取付けてください。

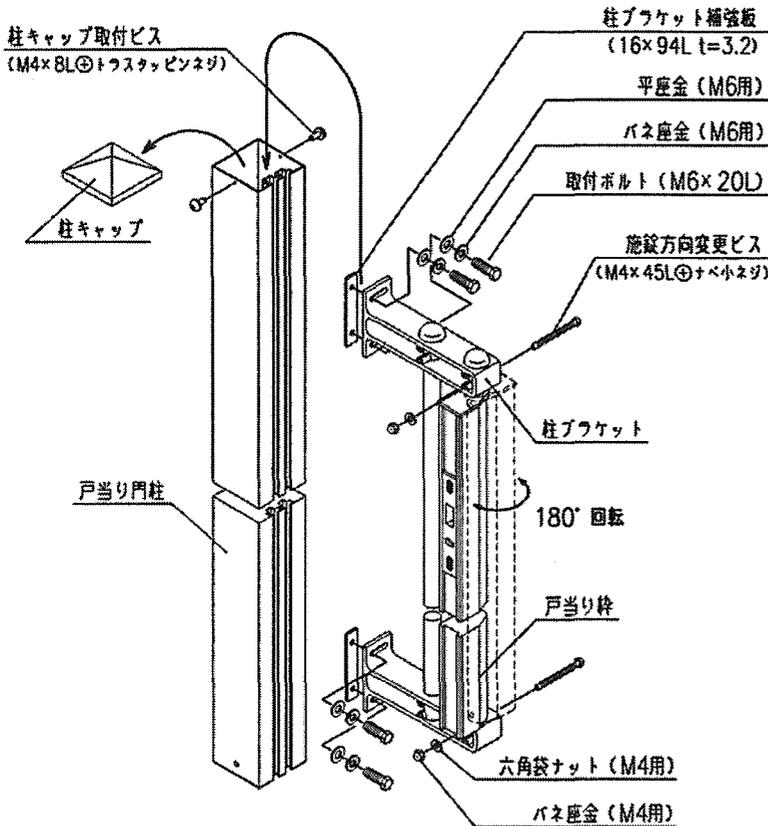


注) 下図は基準取付位置を示します。

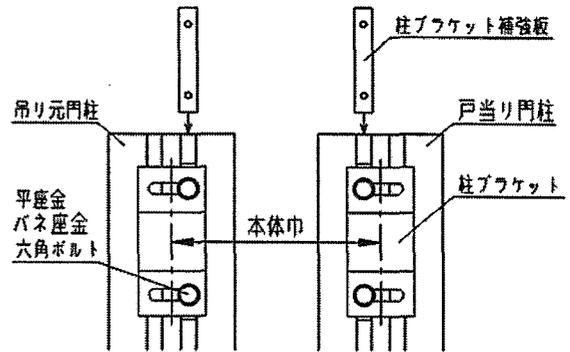


## 4 片開き用施錠受けセットの取付方法

- 片開き用施錠受けセットの取付けは、まず柱キャップを外してから下図のように柱の上から差し込み、扉を閉めた状態で上下の高さを調整し固定してください。調整が終われば柱キャップを取付ビスで取付けてください。戸当り門柱が施工納まり図と逆になる場合は、施錠方向変更ビスを抜き取り戸当り枠を左右反転してから固定してください。



注) 下図は基準取付位置を示します。



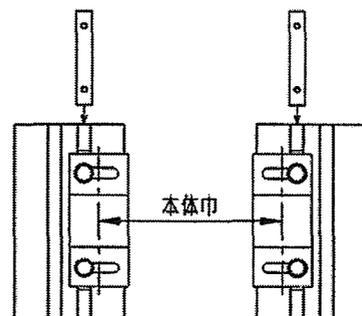
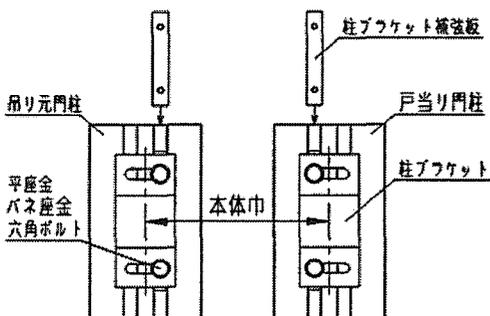
## 5 吊元・戸当柱及び柱ブラケットによる調整巾

- 仕様書の全巾寸法での柱ブラケットの取付基準は下図①ですが、図②や図③のように柱ブラケットと柱の溝により40m/mまで調整出来ます。取付基準は柱ブラケットが柱の中心になるように取付けてください。(図①参照)

① 取付基準

② 最小の場合

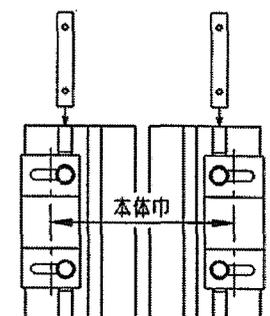
③ 最大の場合



基準からの調整範囲 40 m/m



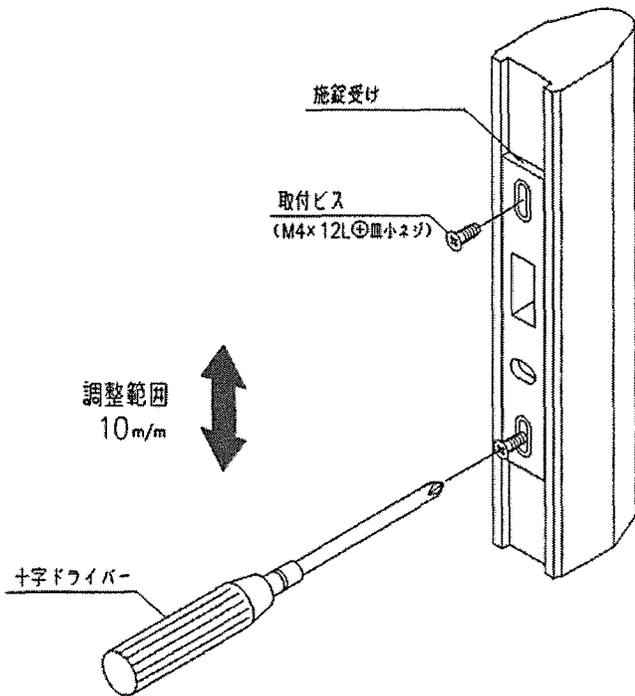
8



基準からの調整範囲 40 m/m



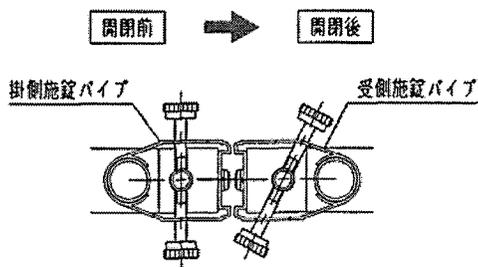
## 6 施錠受けの高さ調整



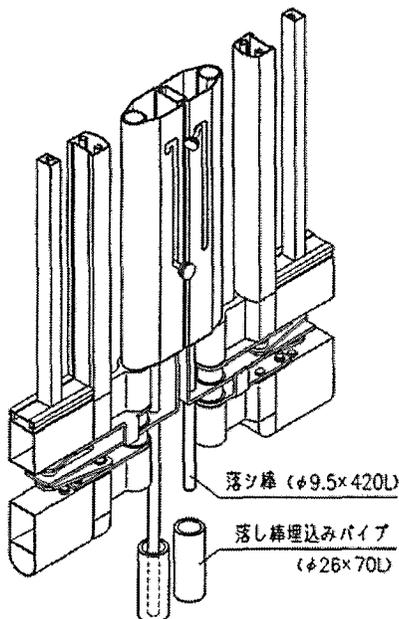
■ 両開きの場合、施錠合わせ等高さ調整が必要な場合は左図のように取付ビスをゆるめ施錠受けを上下調整してください。キャスターも合わせて調整してください。

㊦参照

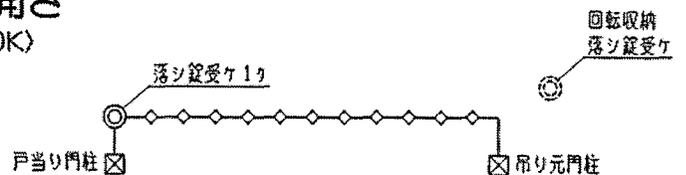
## 7 落とし錠の操作及び落とし錠受けの設置



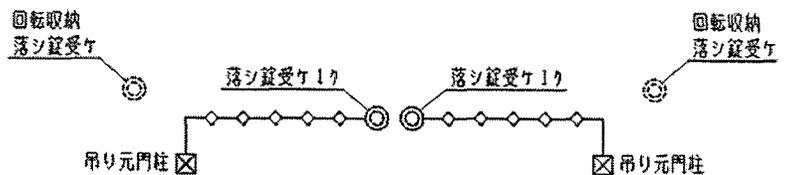
■ 落とし錠受けの設置は現物合わせで、落とし錠の位置へ落とし錠受けを必ず設置し使用してください。



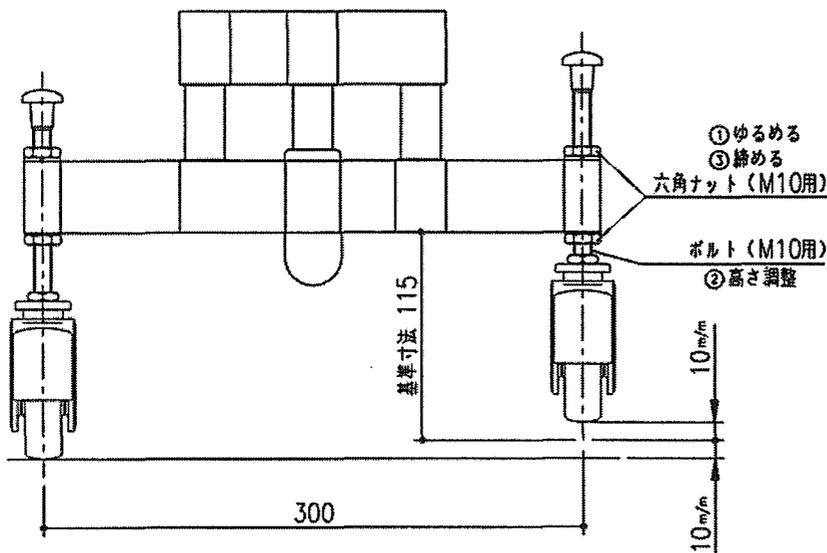
■ 片開き (460K)



■ 両開き (430W)

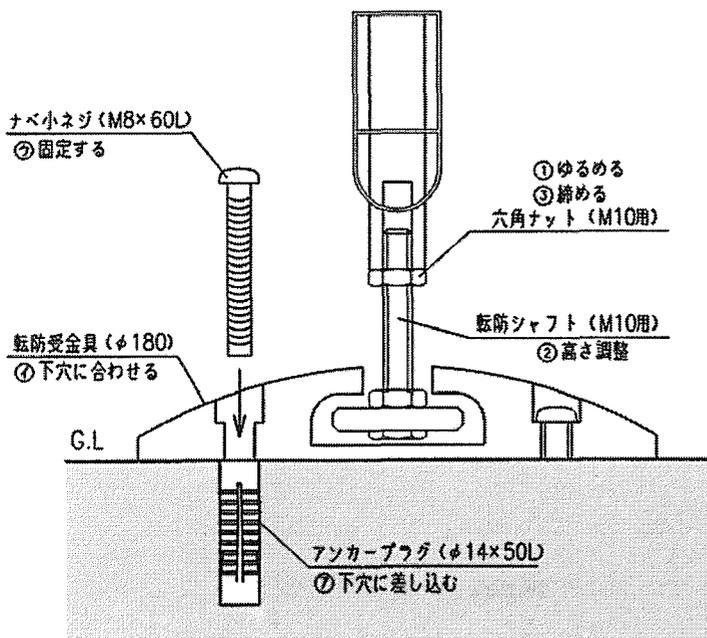


## ⑧ キャスターの高さ調整

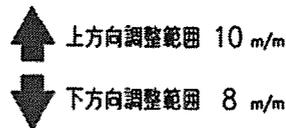


- 水はけの勾配等高さの調整が必要な場合は、左図のようにキャスターで20m/mまで調整できます。調整方法は図中の番号順にしたがって調整してください。

## ⑨ 転防受金具の取付方法及び高さ調整



- 扉を閉じた状態で転防受金具を設置し、現物合わせで(φ14×50Lの穴)をあけてください。扉が一直線上になるようにしてください。高さ調整が必要な場合は、左図の手順にしたがって調整を行ってください。



## ⑩ おわりに

- 以上で取付は終了ですが、お客様に正しく取扱っていただくために取扱説明書をお渡しいただき、使用方法、メンテ等の説明をしてください。